

# WE しもやま LOVE



## TTC-Sハーモニーフェスティバルが開催されました！

9月12日（土）、トヨタテクニカルセンター下山（TTC-S）で、「TTC-Sハーモニーフェスティバル」が開催されました。このイベントは、TTC-Sの社員とその家族、そして下山地区の住民が交流することを目的にしています。

下山らしさを取り入れたいというTTC-Sの希望もあり、縁日会場には、やぐらが設置され、下山商工会青年部の全面協力で、下山の夏祭りが再現されました。定番曲「京都の女の子」では、中学生が叩く太鼓に合わせて、住民がTTC-Sの社員やアスリート、マスコットキャラクターたちと手をつなぎ、かけ声をそろえて踊りました。

メインイベントでは、500個のLEDスカイランタンの打ち上げが行われました。参加者は、それぞれのランタンに思い思いのイラストなどを描き、願いを込めました。合図とともにランタンが一斉に舞い上がると、やわらかな明かりが下山の夜空を彩り、参加者は、家族や友人と眺めたり、写真を撮ったりしながら、特別なひとときを楽しみました。紐で結ばれたランタンは、1週間ほど宙に浮かび続けるため、持ち帰った後も家庭で楽しむことができます。



▲LEDスカイランタンの打ち上げの様子



## 高性能草刈機体験会を開催しました！

8月29日（土）、大沼町の八沢の丘公園で地域住民を対象に「高性能草刈機体験会」を開催しました。この体験会は、昨年度、下山地域会議から提言された「耕作放棄地の粗放的な管理」を踏まえ、草刈りの負担軽減につながる高性能草刈機を体験していただくために開催したものです。

当日は、4種類の草刈機（ハンマーナイフモア、乗用モア、スパイダーモア、ラジコン草刈機）を用意しました。各草刈機の特徴や操作方法について実演を交えながら説明を受けた後、参加者は実際に機械を操作し、その性能を確かめました。参加者からは「実際に操作すると機械の特徴がよく分かった」「思ったより操作しやすい」「広い農地の草刈りに活用できそう」といった声が聞かれました。



▲乗用モアの説明の様子

このコーナーは、地域記者まちやの連載コラムです。下山に移住・定住された方たちを紹介し、下山地区の魅力の再発見を目指しています。第14回は、羽布町に移住された戸田 岳さん・真澄さん取材しました。

### 【戸田 岳さん・真澄さんのプロフィール】

岳さんは神奈川県川崎市出身。大学を卒業後、都内の市役所で産業振興の仕事に携わってきました。田舎暮らしに興味を持ち、真澄さんと出会ったことをきっかけに、令和8年3月に退職。現在は下山で新たな仕事と暮らしを始めています。

真澄さんは幸田町出身。短大で調理や食について学び、飲食関係の仕事を経験しました。幼い頃に見た「ザ！鉄腕！DASH!!」の「DASH村」をきっかけに田舎暮らしに興味を持ち、豊田市での間伐ボランティアや「豊森なりわい塾」で里山の暮らしを学びました。令和2年に岐阜県飛騨市神岡町へ移住。約6年間、雪深く、狩猟が身近な環境で暮らす中、アナグマの止め刺しを目にしたことをきっかけに狩猟に興味を持ち、狩猟免許を取得しました。

### 【二人の出会い、そしてしもやまへ】

二人が出会ったのは令和7年頃。岐阜県の移住と婚活を組み合わせたサイトがきっかけでした。



▲まちや(左)と戸田さんご夫妻

自然の中での暮らしや、自給自足に近い生活に興味を持っていた二人。下山への移住を考える中、真澄さんが「豊森なりわい塾」を通じて知り合ったKINOファームの木下貴晴さんに相談し、現在の住まいを紹介してもらいました。

岳さんは、豊田森林組合で手にしたパンフレットをきっかけに和合町の林業会社「株式会社 緑豊(りよくほう)」を知り、自ら連絡。現在は林業の仕事に携わりながら、思い描いていた自然の中での暮らしを始めています。

▶ 岳さんチェーンソーアート



### 【これからはもやまでやってみみたいこと】

岳さんが挑戦してみたいことのひとつが、チェーンソーアート。現在の林業の仕事で使うチェーンソーを生かし、一本の木から作品を作ってみたいと話してくれました。

二人が共通して思い描くのは、自給自足に近い暮らし。狩猟や農業、森林との関わりなど、これまでの経験を生かしながら、自分たちらしい暮らしを築いていきたいそうです。また、下山の人たちの優しさを感じながら、地域の行事にも積極的に参加し、暮らしを楽しみたいと話してくれました。

### 【取材を終えて】

狩猟、農業、林業、自給自足など、これまでの経験が下山での暮らしにつながっていることを感じました。移住や田舎暮らしを考えている方に対し、「不安に思いすぎずに、ぜひいらしてください」と話すお二人。チェーンソーアートや自給自足にも挑戦しながら、羽布町で自分たちらしい暮らしを築いていくお二人のこれからが楽しみです。岳さん、真澄さん、この度はありがとうございました！



▲真澄さんと熊(岐阜県飛騨市で)

取材・記事：川合真裕(まちや)：平成4年生まれ。小・中・高校と卓球に明け暮れる毎日。羽布建設の家業を継ぐため 現在奮闘中。下山を盛り上げたいという想いを持った同級生5人組「Village Fan's Co.」代表。現在、里楽暮らし(りらくくす)しもやま会の委員に就任しています！





## 下山中学校3年生スマイルフェスタへの道Vol.2

9月11日（金）、下山中学校に3年生と地域の事業所が集まり、10月25日に開催されるスマイルフェスタに向けた2回目の打ち合わせが行われました。

この日は、夏休み中に準備したSNS用のPR動画や、購入者へのノベルティ、新しい五平餅の型の報告をはじめ、当日の販売ブースの装飾イメージなどを話し合いました。ときどき館のグループでは、生徒たちが考案したブルーベリーを使用した新商品の試作品を口にすると、目を輝かせながら「おいしい!」「すごい!」と口々に感想を伝えていました。

生徒たちは、地域の事業所の魅力を発信することを目指し、限られた時間で準備を進めています。当日は、舞台上で各事業所のPR活動もあるようです。生徒たちと地域の事業所が力を合わせた成果を、ぜひスマイルフェスタでご覧ください。



▲新商品の打ち合わせの様子



## わくわく事業団体紹介（一般社団法人しもやま里山協議会）

様々な里山体験会を企画・実施している「一般社団法人しもやま里山協議会」が、今年度より、わくわく事業団体として新たに加わりました。

同協議会では、トヨタテクニカルセンター下山(TTC-S)の敷地内にある農地を活用し、年間を通して田植えや稲刈り、木工、炭焼きなどの体験会を実施しています。これらの体験会を通じて、地域住民との交流を深めるとともに、豊かな里山の環境を守り、次世代へ継承していくことで、地域の活性化につなげていきます。



▲体験会での集合写真

### 下山地区データ

人口  
3,821 人  
(-56)

男性  
1,910 人  
(-23)

女性  
1,911 人  
(-33)

(9月1日現在)  
※( )は前年同月比  
世帯数  
1,638 世帯  
(-2)

### 発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）

毎月15日発行

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344

MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



地域記者を募集中! あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか!



〔 社協下山支所だより 〕

# まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp



## 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金へのご協力をお願いいたします



### 募集期間

令和8年10月1日

から

令和8年12月31日

### 募集・協力方法

各戸へ配られる封筒を使って募金  
赤い羽根共同募金協力店（香恋の館・山遊里・  
下山の里・下山郵便局・羽布郵便局・  
シルバー人材センター）での募金  
下山交流館募金箱・まどいの丘窓口  
など

赤い羽根共同募金は、  
「じぶんの町を良くするしくみ。」です。  
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる  
よう、ボランティア活動や地域ふれあい  
サロン、福祉車両・車いすの貸し出し等、  
様々な福祉活動や防災・減災活動のために  
活用されます。

詳細は、各戸配付のリーフレットをご覧くださいか、  
豊田市共同募金委員会 下山支所  
（☎90-4005）までお問い合わせください。



▲下山中学生による街頭募金や  
カプセルトイでの募金も行っています。

## ～しもやまで輝くひと・グループ紹介～ Vol.9 「 地域の手しごと屋さん 」

縫い物が好き、針仕事が得意、仕立ての経験や技術を持つ  
まどいの丘デイサービスの利用者さんが、地域の皆さまの  
“ちょっとした困りごと”にお応えする取り組みです。

【このようなことを承ります】

裾直し、ゴム交換など衣服の簡単な補修、思い出の  
品のリメイク、入園・入学セット等の布製品の製作など

【費用】製作代はいただきません※材料をご準備ください

【問い合わせ】まどいの丘デイサービスセンター

☎90-4005



注文待って  
いるよ♡



心を込めて  
作るよ♡





# 下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) HP:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

## しもやまスマイルフェスタ

日時:10月25日(日) 9時30分～14時30分

会場:下山交流館・憩の家周辺・基幹集落センター

※詳しくはチラシをご確認ください!

下山中学校  
文化祭  
同時開催

《交流館利用の変更お知らせ》

|               | 受付業務 | 図書返却<br>予約貸出 | 図書閲覧<br>貸出 | 部屋利用 | 子育て<br>交流スペース |
|---------------|------|--------------|------------|------|---------------|
| 10/24(土) 終 日  | ○    | ○            | ×          | ×    | ×             |
| 10/25(日)9～18時 | ○    | ○            | ×          | ×    | ×             |

※10月25日(日) 18時以降は通常開館します

### 講座案内

#### 下山の歴史を学ぶ in 大桑城



申込フォーム(歴史)

【日 時】11月28日(土) 10～12時

【場 所】大桑城址

【対 象】どなたでも

【定 員】20人

【参加費】800円

【申込み】10月27日(火) 10時から  
上記申込フォームより



#### 自然体験塾 2026

#### 星の観測会



申込フォーム(星)

【日 時】12月5日(土) 17時30分～19時

【場 所】三河湖テラスこりん

【対 象】どなたでも

【定 員】60人

【参加費】無料

【申込み】11月3日(火) 10時から  
上記申込フォームより



※詳しくはHP・チラシをご覧ください。

### 講座報告

#### やまの保健室 プラスサロン



8月20日(木)スマイリング看護師による健康チェックと相談、「回想法～映像で振り返る懐かしの下山村～」を行いました。懐かしい映像を見ながら、参加者同士語り合う楽しいひと時を過ごしました。

今後の予定: 12月17日(木) トーンチャイム

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



#### 11月のロビー展示

『しもやま幸座  
己書作品展』  
日本己書福武道場



# 蛇ねぶり岩のあゆみ

絵と文 なかむら ぶん

民話の山で紹介した蛇ねぶり岩は、29年まで国道301号線から花山小学校の車に見えぬ場所だった。花山側の山の花山側の山の上にあります。今はこの頂が造成され地形は変わりフェンスで囲われたので山の南側の出入り口にお蔵をしてもう掘えら水ているよ。今では花山のふもとを登る山を登らずに蛇ねぶり岩に会いに行けます。

山若はいつまでもそこにありと思えていたけれど、時代と共に変わることもあるのだね。この蛇ねぶり岩のあった山は、山裾に住んで居たといふところ、昔は松茸も出る山で、昭和の大戦後の花山のふもと達は授業で先生が今日は山で自然学習、いよいよおはようば勇んで山へ駆けあがって遊ぶ花山の子供のうたがうただったとす。私には先生が、今日は山探検、いよいよおはようば勇んで山へ駆け巡りあがったに似てある。ロープや金華を見つけて時には松茸も見つかるもいたった。その頃は子どもでも探った松茸を大鍋のついでにササ入持って行くところになった。戦後の食糧不足のころの家の多かった時代、親が子に文房具を自由に買ってもらったのを先生が配してみんなの手に渡すように工夫してくれた宝探したんだね。

何はなしの山にない山に思はれを聞かすもいきました。

